平成30年12月11日

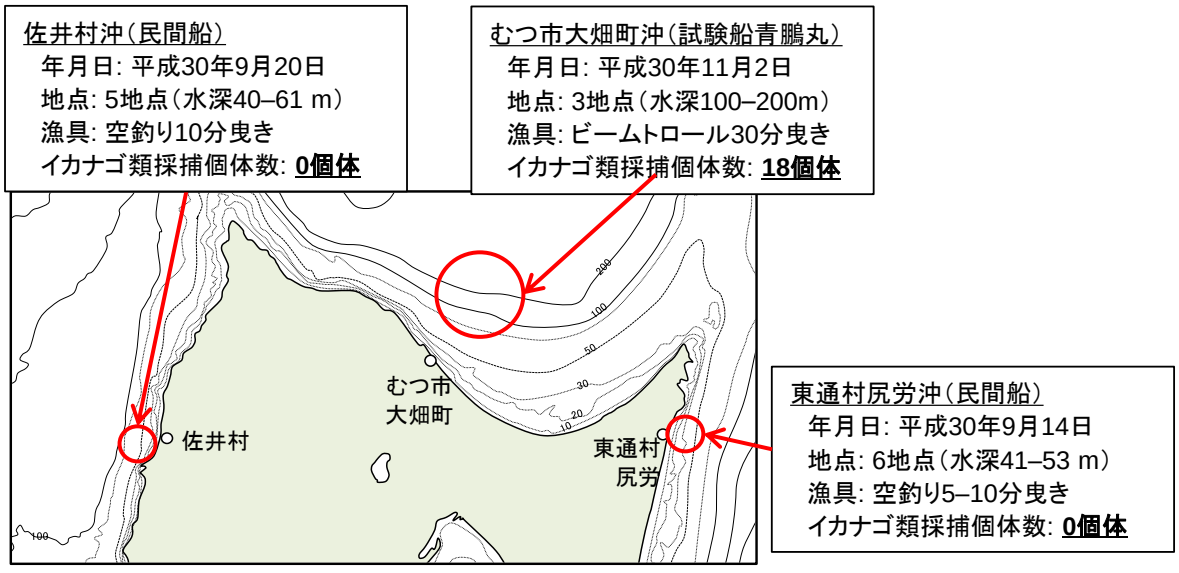
イカナゴ類夏眠場調査の結果について

(地独)青森県産業技術センター水産総合研究所

イカナゴ類の夏眠場と想定される下図3海域について、空釣り及びビームトロールで分布状況を調査しましたので、その結果をお知らせします。

佐井村沖では、平成8年は水深45–60 m を中心に300個体の当歳魚がまとまって採捕されましたが、今年は全く採捕されませんでした。平成30年はむつ市大畑町沖では、18個体が採捕され、そのうち1歳魚が1個体、2歳魚が17個体でした。平均全長は、1歳魚が125 mm、2歳魚が170 mmでした。平成29年の54個体と比べると採捕数は減少しており、平成13年の340個体と比べると遥かに少なく、分布は極めて少ない状況が続いていると考えられました。東通村尻労沖では、平成28年は水深45–50 m を中心に59個体の当歳魚がまとまって採捕されましたが、今年は全く採捕されませんでした。

当所では今後も資源動向のモニタリングを継続していく予定です。漁業関係団体の皆様に於かれましては引き続き本種資源を適切に管理いただきますようよろしくお願いします。（担当：資源管理部）



図．イカナゴ類夏眠場調査の結果